

# ブルーナーと人間をみる眼

ナラティブと質的研究会 第7回 (古典を学ぼう1)

2014年**12月13日** (土) **14時~18時** (参加費無料・申込み不要)

立命館大学衣笠キャンパス 創思館303・304

講演者：**横山草介** (青山学院大学)

企画：**やまだようこ** (立命館大学) ・ **浦田 悠** (大阪大学)

司会：**浦田 悠** (大阪大学)

## ✽ 概要

今秋99歳を迎える現在も、NYU-LAW SCHOOLの教壇に立つDr. Jerome Bruner。

アメリカ心理学会を中心として常に時代の趨勢を読みながら、心理学界を牽引する重要な仕事を残して来た。ニュールック、認知革命、比較文化心理学、乳幼児言語獲得研究…。

学問の領域を超えた世界中の同僚や学生たちとの絶えざる、そして惜しめない対話を通して、彼の心理学は留まることなく漸進してきた。1980年代以降の仕事は、Narrative Psychology, Cultural Psychologyの嚆矢として位置づけられ、今日に至るまでその仕事は一定の評価を受けて来た。その一方で、我が国におけるBrunerの仕事の受容と評価は、優れた紹介者の仕事をもちながらも、欧米におけるそれと比べると、決して高いとは言えない。

本研究会では、「Jerome Bruner と人間を観る眼」という主題を立ち上げ、参加された皆様と共に、彼の学究の気風を味わうことに挑戦してみたい。その過程で、例えば、彼が"Acts of Meaning"や"Narrative"という概念に込めた心理学的探究の新たな射程、ないし可能性を垣間みることができれば幸いである。

## ✽ タイムテーブル

	13:30-	開場
第一部	14:00-14:30	研究会趣旨と ブルーナーの紹介 (やまだ)
	14:30-15:10	講演1 (横山)
	15:10-15:50	討論
	15:50-16:20	休憩 (茶話会)
第二部	16:20-17:00	講演2 (横山)

※問い合わせ：narrative123@gmail.com

※キャンパスへのアクセス

[http://www.ritsumei.jp/accessmap/  
accessmap\\_kinugasa\\_j.html](http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_kinugasa_j.html)  
(右のQRコードもご利用ください)

※駐車スペースがございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用下さい。



主催：立命館大学生存学研究センター「生存のナラティブと質的研究会」

共催：日本心理学会ナラティブと質的研究会・

日本発達心理学会ナラティブと質的研究分科会